

## 数 学 科 授 業 シ ラ バ ス

科目名	単位数(標準単位)	学科・学年・学級
数学研究 $\alpha$	単位(3)	学術文科 第2学年

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばし、それらを活用する態度を育てる。	
使用教科書	NEXT数学Ⅱ(数研出版)	学習形態
使用副教材	○教科書傍用 CONNECT数学Ⅱ+B(数研出版) ○思考力・判断力・表現力を磨く数学Ⅰ+A(数研出版) ○思考力・判断力・表現力を磨く数学Ⅱ+B(数研出版)	1・2組 2展開

### 2 学習計画

学期	月	学習項目 (単元名等)	学習内容	評価の観点 評価基準	考査 範囲	
一 学 期	4月	第3章 図形と 方程式	第1節 点と直線	1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係	座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	一 学 期 中 間 考 査
	5月		第2節 円	2. 円の方程式 3. 円と直線 4. 2つの円		
	6月		第3節 軌跡と領域	5. 軌跡と方程式 6. 不等式の表す領域 研究. 放物線を境界線とする領域		一 学 期 期 末 考 査
	7月		第4章 三角関数	第1節 三角関数		1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用
9月	第2節 加法定理	6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成				
二 学 期	9月	第5章 指数関数と 対数関数	第1節 指数関数	1. 指数の拡張 研究. 負の数のn乗根 2. 指数関数	指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	二 学 期 期 末 考 査
	10月		第2節 対数関数	3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数 研究. 対数と無理数		
	11月	第6章 微分と 積分	第1節 微分係数と導関数	1. 微分係数 2. 導関数	微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	二 学 期 期 末 考 査
	12月		第2節 導関数の応用	3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと方程式・不等式		
三 学 期	1月	問題演習 数学ⅠAⅡB	数と式 集合と命題 2次関数	数学ⅠAの基本問題を主に扱い発展問題の考察に活用できるようにする。	学 年 末 考 査	
	2月		図形と計量			
	3月		データの分析 場合の数と確率			
	3月		図形の性質 整数の性質		次 年 度 定 期 考 査	

#### 【年間の評価】

「定期考査」、「章末テスト」等の小テストや、「誤答ノート」等の課題提出状況、さらに授業への参加態度等をもとに総合的に評価する。